

# 船を漕ぐ



令和6年5月15日(月)

## しなやかに

神足小学校では、以前より特別活動を中心とした研究に力を入れてきました。特別活動は、他者と協働するうえで必要となる行動の仕方を学んだり、話し合いを通して合意形成を図る力を育んだり、自分の生活をより良いものにしていこうと行動する子ども達を育てるという目標をもとに行われ、子ども達の成長に欠かせないものです。このような力を高めたいと研究を進めてきましたが、コロナ禍における様々な制約があったことも一因となり、子どもたちの「経験の場」が少なかった3年間であることも事実です。緩和されている今年度は、様々な教科での経験を基に子どもたちが「しなやかに生きる」ための力を高められるようにしたいと以下の研究テーマを設定しました。今年度が、2年目となります。

自分自身を見つめなおして、「しなやかに」考え直す姿。他者との関わる際に、「しなやかに」対応する姿、様々な課題も自分ごととして「しなやかな」視点で解決していく姿。多様な視点で、多様な考え方をもち、多様に表現していく。そのような姿が、VUCA (Volatility: 変動性・Uncertainty: 不確実性・Complexity: 複雑性・Ambiguity: 曖昧性の頭文字) の時代を切り開くために必要な力だと考えています。

どうすればしなやかに思考し、表現することができるのか。

今回の研究は、「問い」から始まっています。教員も子どもと全力で向き合い、子どもと一緒に考え、教員自身も「しなやかに」学んでいく1年間にしたいと思っています。

保護者の皆様にも、一緒に「しなやかに生きる」子どもの姿をイメージしてもらい、見守っていただけたらと思います。



# 学年コーナー 3年生



## 話し合い活動から 見える しなやかな姿

5月13日（月）に、今年度初めての話し合い活動を実施しました。3年生になって初めての話し合いということもあり、計画委員を中心に、本番に向け一生懸命に準備をしていました。当日は、参観者も多く緊張している様子もありましたが、「みんなで考えた提案理由を意識して話し合えた」「どの心配意見も改善することができた」「準備の成果が表れた」などの振り返りが見られました。

〈学習の流れ〉

### ① 計画委員を決定

計画委員になれなかった児童も多くいましたが、「フロアの人もたくさん意見を言って参加しよう」「計画委員が困っていたら助けてあげよう」など、みんなで話し合いに向かおうとする姿勢が素敵でした。

### ② 議題の決定

「1年間よろしくね会」をしよう！に決定

### ③ 提案理由の設定

「みんなの名前やすきなことをおぼえ、  
楽しいわらい声がひびく3年1組にしたいから」

### ④ めあての設定

「みんなでたくさん意見を出し合って、  
みんながなっとくできる意見をみちびきだそう」

### ⑤ 柱の設定

「おにごっこの工夫を考えよう」

### ⑥ 意見の集約

**「タッチされたら1年間頑張りたいことを言う」**

**「障害物を置く」**

**「タッチされたとき自己紹介カードを交換する」**

みんなが出した「動機」と「願い」をもとに考えました。自分の思いに加え、学級全体でどうなりたいかを考え、また、「転入生の『みんなの名前を覚えたい』という気持ちを取り入れよう！」など、みんなの思いが入るよう何度も検討し、時には計画委員以外の考えを取り入れるなどしている姿が見られました。



話し合い前には「緊張する！」という声とともに、「全部の意見をが通るように改善しよう！」「発表は難しくても友達との交流で意見を言いたい」など前向きな声が多く聞かれました。本番では、ペアやグループでの対話の中で、改善意見を見つけたり、障害物の内容考えたりする姿が素敵でした。

### ⑦ 話し合い



神足小が目指す児童像（至誠・進取・敬愛）に向け、どのような取組を行っているのか、「研究だより」を通してお伝えしていきます。児童・教師・保護者の方々が“心と力を合わせて一緒に櫓を漕ぐ”ことができますように。